

テキストエディタ vi の使い方

平成 13 年 4 月 17 日
峯 肇史

1 vi とは

vi はテキストエディタです。UNIX マシンの設定ファイルなどを編集する場合は、基本的にこのエディタを使用してください。

2 vi の起動法

vi を起動するには。コマンドラインから
`% vi file`
と入力します。ターミナル上に vi が起動します。

3 vi のモード

vi には 2 つのモードがあります。

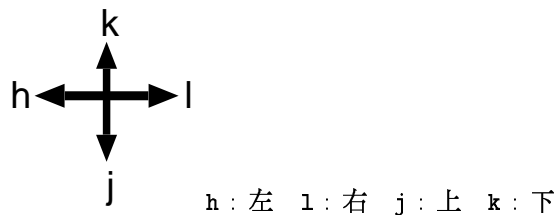
- コマンドモード
カーソルの移動や、コマンドを打つことによりファイルの編集、操作ができます。(vi を起動するとはじめはこのモードになっています)
- 編集モード
文字を入力したり、ファイルをセーブする場合などに用いるコマンドを打つモードです。

4 コマンドモード

vi モードで以下のキーを打つと以下の操作ができます。

4.1 カーソルの移動

vi では、カーソルの移動は基本的に、キーボードの `h j k l` の 4 つを使って行ないます。各キーに割り当てられているカーソルの動きは、以下の通りです。



キーボードの矢印キーでカーソルの移動を行なうこともできますが、`h l j k` を使うことをお勧めします。

4.2 文章の編集

- x
文字の削除。現在のカーソル上の文字を 1 文字削除します。
- D
現在のカーソル上の文字から行末までを削除します。
- dd
行の削除。現在のカーソルがある行をすべて削除します。
- yy
コピー。現在のカーソルがある行をコピー
- u
undo。直前に行なった作業を取り消します。
作業を続けて取り消す場合は
u . . .
です。
- p
張り付け。dd で削除された行を現在のカーソルがある行の次の行に張り付けます。
- P
張り付け。dd で削除された行を現在のカーソルがある行の前の行に張り付けます。
- J
行の連結。現在のカーソルがある行とその下の行を連結します。
- ZZ
ファイルに変更を保存して vi を終了します。
- number Y
現在のカーソルから number 行だけコピーします。
- \text
現在のカーソル位置から下に、text と一致する文字を検索します。

基本的にこれらのコマンドの前に数字を入力すると、その数字分だけコマンドを繰り返して行うことができます。

4.3 コマンド

コマンドモードのときに、(: + コマンド) を入力することにより、以下の操作ができます。: を入力すると画面最下行に : が表示されます。その後にコマンドを入力して Enter を押すと、コマンドが実行されます。実行後は vi モードに戻ります。

- :w
ファイルの保存。ファイルに変更を保存します。
ファイル名を指定して保存する場合は
:w filename です。

- :q
vi の終了
- :wq
変更をファイルに保存して終了。
- :wq!
ファイルを強制的に書き込み、vi を終了
基本的に、強制的にファイルの書き込みや vi の終了を行なう場合は、コマンドの後に!をつけます。
- :q!
強制終了。ファイルに変更を保存しないで終了。ファイルに変更を加えたけれど、その変更を取り消したい場合などには、このコマンドを用いると、変更は保存されません。

5 編集モード

vi モードの時に以下のキーを打つと文字を入力することができます。ただし、vi では、文字の入力中には、vi の他のコマンド (カーソルの移動、ファイルの保存 vi の終了など) を実行できないことに注意して下さい。

- i
現在のカーソル位置から文字が入力できるようになります。文字の入力をやめるには、ESC を押します。(vi モードに戻ります)
- a
現在のカーソル位置の後から文字が入力できるようになります。文字の入力をやめるには、ESC を押します。(vi モードに戻ります)
- o
現在のカーソルがある行の下の行に文字を入力できるようになります。文字の入力をやめるには、ESC を押します。(vi モードに戻ります)